

おひさま ニュース

2021

秋 号

10月15日発行



ホームページ

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也

支えあい

看護部長

大塚逸子



みなさまこんにちは。さわやかな秋の風が心地よく感じられる今日この頃となりました。

2020年から始まった新型コロナウイルス感染症への対応が1年半以上たった今も、終息を願って全人類が戦い続けています。日常の感染対策、当たり前になった手洗い・消毒・マスクをはじめ、フェーズによる感染対応・行動制限や自粛・治療薬・ワクチン……。三密（密閉・密集・密接）回避はこれからも守り続けなければなりません。私たち医療者は、自身の感染はもちろんのこと院内クラスター発生などを危惧し、皆日々の行動について感染対策を強化し、緊張した生活を続けています。

8月にはコロナ感染第5波に直面し、安房郡市も例外なく感染者が急増しました。大・小クラスターの発生、そして、200名以上の濃厚接触者が自宅で療養せざるを得ない状況にもなりました。当院でも、千葉県の新型コロナウイルス感染症に対する病床計画に従い、コロナウイルス感染症患者さまの受け入れを開始しました。また、救急では、受け入れ先に難渋した県北からの救急車（コロナ陽性者）を受け入れ、尊い命を救うことができた事例も多々ありました。当院は、安房地域の二次救急を担う病院と自負しています。救急患者さまやコロナ陽性者の受け入れに対し、看護部

職員はじめ、病院スタッフが誇りを持って職務を全うし続けているからこそ成り立っていると、心より感謝いたします。また、病院スタッフが無事に働き続けられているのは、ご家族さま・地域のみなさまのご理解とご協力・支えがあればこそと、尊意と感謝の気持ちでいっぱいです。当院は、感染症専門医の指導に従い感染対策を実施しており、院内感染は今まで起きていません。これから先も、安全な環境を整え、職員自身も感染しない為に万全な対策の実施をして参ります。病院として、これからも、大切なスタッフを守りつつ、地域医療を担う病院として、職員一丸となってこの非常事態に対応して参りますので、これからもご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

一方では、3月からワクチン接種が開始され、10月現在若年層のワクチン接種が急速に勧められ、最終段階にきています。9月22日時点での国内の接種者割合が、1回接種67.8%、2回接種55.8%で、高齢者率が高い館山市では1回接種75.6%、2回接種62.8%というデータがあります。2回のワクチン接種で抗体を付けることにより、感染しても軽症で済むといわれています。

地域のみなさまも、コロナ禍でストレスフルな日々と察します。一人ひとりが「おもいやりの心」を胸に支えあい、この災難を乗り越えていきましょう。苦労が報われ、一日でも早くコロナが収束し、平穏な日々、何気ない日常が戻ることを願っています。



診療科のご紹介

内科系				外科系			その他系
総合診療科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	腫瘍内科	甲状腺外来	外科	婦人科	脳血管内治療科	救急科
呼吸器内科	膠原病内科	脳神経内科	健診外来	肛門科	乳腺外科		透析科
消化器内科	小児科	胸部精検		整形外科	スポーツ整形		麻酔科
循環器内科	腎臓内科	糖尿病甲状腺内分泌内科		泌尿器科	皮膚科		リハビリテーション

消化器内科

2020年7月より消化器内科外来を行っております妹尾と申します。火曜午後、金曜午後の外来、月・火・水・金の上部(胃)・下部(大腸)内視鏡検査を担当しています。



現状の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、上部内視鏡検査を施行することは患者さまやスタッフにとって感染の危険性が高いとされています。新型コロナウイルスの不顕性感染者(無症状の感染者)をあらかじめ選別するのは困難であり、検査中に発生する飛沫やエアロゾル(空気中に漂う微細な粒子)を介して感染拡大を来すことが懸念されます。検査毎に十分な換気を行い、被検者には自作の不織布付マウスピースで鼻や口を覆うことにより、リスクを低減する努力をしています。また、内視鏡スタッフの安全を守るために、サージカルマスク・ガウン・

フェイスシールド、キャップを着用しています。ご理解のほどお願いいたします。

当院での下部内視鏡検査のポリープ切除はEMR(内視鏡的粘膜切除術)とコールドポリペクトミーを使い分けています。従来のポリープ切除は高周波という電流を用いてEMRを行っていましたが、そのため電流の影響で切除後に出血や腸に穴が開く穿孔のリスクがあり、制限や入院を必要としていました。10mm以下のポリープにはコールドポリペクトミー(熱を加えずに切除)を行うことにより、従来の治療と比べて入院を必要とせず、治療後の合併症発生率(出血・穿孔)を低くすることができています。

症状や検査でご不安なことがあれば、いつでもご相談ください。

せのお たかひろ

妹尾孝浩

出身地：神奈川県横須賀市

趣味：囲碁

房総の好きなところ：

魚が美味しいところ！



画像検査つれづれ

～撮影の時はどんな服装？
お化粧OK?～



画像診断室 室長 鈴木一志

今号から、画像診断のシリーズです。よくある質問や疑問にお答えします。

●**服装** いつも通りの服装でご来院下さい。撮影前に、撮影部位に金属やボタン等の硬いものがないか確認し、ない場合は、そのまま撮影します。あった場合は、当院の検査着に着替えて撮影します。ただし、MRI(磁気共鳴

コンピューター断層撮影)は、衣類の繊維にまれに金属物質が使われているものがあるので、どなたも当院の検査着に着替えて撮影します。

●**化粧** 撮影技師は患者さまの顔色などを確認しながら検査を行います。X線撮影上は化粧は問題ありませんが、顔色がわからないような化粧はできるだけ避けて下さい。また、MRI撮影時は化粧品の素材によって金属を含むものもあり、化粧を落としていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



Physician Assistant (フィジシャン アシスタント)

PA 矢野佑治

みなさんは、PAをご存知ですか？ PAとは、医師(フィジシャン)と助手(アシスタント)の単語を合わせたものです。日本ではまだなじみの少ない医療従事者ですが、アメリカを中心に多くの国で活躍しています。その役割は、医師指示のもと各部署での予診、検査オーダー、治療プランの提案、疾患・疾病予防のためのカウンセリング、処置や手術の介助、病棟患者さまの回診、そして臨床研究があります(米国PA協会ホームページより)。

当院では2019年より看護師資格を有する職員1名が、整形外科専属のPAとして配置され、医師指示のもと実施可能な業務を行っています。それにより待ち時間の短縮や迅速な処置が実現し、患者さまに少しでも満足していただけるよう努めています。今後は他の診療科においてもPAがどんどん活躍できる環境を整えていく予定です。

外来

初診患者さまの予診をし、その内容を医師へ報告して必要な検査を手配します。医師が



シーネ作成

診断後、外固定(シーネ)作成、注射や創部処置の介助、手術が必要な患者さまの術前検査、手術器材の手配をします。

病棟

医師指示のもとで術後の患者さまの創部のガーゼ交換や内服・注射のオーダー実施や退院時のかかりつけ医や転院先への診療情報提供書の作成の補助も行います。

手術

手術日程をスタッフや麻酔科医に確認してスケジュール調整を行い、手術中では術野でのアシストを行います。



手術ではアシストを担当

いろいろな現場でみなさんに関わる機会が多い仕事です。お会いした際には、お気軽に声をかけてください。

おひさまキッチン

きのこたっぷり茶碗蒸し

管理栄養士 出口恵美子

キノコは食物繊維・ビタミン等が多く含まれています。食物繊維は便秘解消や肥満予防、ビタミン類は生活習慣病の予防効果が期待されています。特に椎茸やしめじに含まれているビタミンDはカルシウムの吸収率を高めます。

しかも低カロリーなので、とてもヘルシーです。しめじやえのき等は1年中見かけることができる食材ですが、秋を感じる食材として取り入れてみてはいかがでしょうか。



<作り方>

- ① だし汁に塩、しょうゆを入れ一煮立ちさせて冷やす。
- ② むきえびと花型に切ったにんじん、皮を剥いた銀杏をゆで、三つ葉は茎を取り除く。
- ③ えのきは3等分に切りほぐし、椎茸は半分に切ってスライス、しめじはいしづき部分を取り除く。
- ④ ボウルに卵を割り入れてよく溶きほぐし、①を入れてさらに混ぜた後に裏ごしし、器に半分ずつ入れて蒸し器で約10～15分蒸して蒸す。
- ⑤ 蒸している間に、別鍋に③とだし汁と調味料(いずれもきのこあん用)を入れて火にかけ、煮えたら水(分量外)に溶いた片栗粉を回し入れてトロミをつける。
- ⑥ 蒸しあがった茶碗蒸しにきのこあんと②の具を飾ってできあがり。

【1人分あたり:カロリー 94kcal 塩分 1.9g】

<材料/2人分>

茶碗蒸し

卵……………1個
だし汁…………140cc
塩……………0.4g
しょうゆ…小1/2
むきえび……2尾
銀杏……………2個
にんじん……適宜
三つ葉………適宜

きのこあん

椎茸……………1個
しめじ…………15g
えのき…………15g
だし汁…………55cc
しょうゆ…小2
砂糖……………小1
塩……………0.4g
片栗粉…………小2



婦人科外来のご案内

2020年10月に開設した婦人科外来は、担当医師や外来日が増え、より充実した診療体制を整えています。



担当医師

亀田省吾(常勤) 元亀田クリニック院長

清水幸子(非常勤) 元亀田総合病院主任産婦人科部長・元亀田京橋クリニック院長・元亀田クリニック副院長

診療内容

子宮筋腫や卵巣嚢腫・婦人科悪性腫瘍の診断・

更年期障害・月経異常・骨盤臓器脱などのウロギネ(女性泌尿器)領域・一般不妊外来など婦人科全般を対象といたします。より専門的な検査や手術等の治療が必要な場合は、亀田メディカルセンターとの緊密な連携により、適時ご紹介等の対応をいたします。

外来診療日

	月	火	水	木	金	土
午前	亀田	—	亀田	清水	亀田	亀田 第1・3・5
午後	—	—	亀田	清水	—	—

お申し込みやお問い合わせ

予約センター(日・祝除く) ☎0470-25-5121
平日8:30~17:00 土曜8:30~12:00

新型コロナワクチン 個別接種実施中!

現在、新型コロナワクチン個別接種を実施しています。



【接種日時】月～金曜日(平日のみ)13:30～

【対象】3市1町にお住まいの方(要接種券)

【予約受付】月～金曜日 9時～16時(平日のみ)

【会場】予約の際にご確認をお願いいたします。以下のいずれかの方法でご予約ください。

【専用電話】090-5537-6338 / 080-9534-7681
090-5536-4678

【サイト】<https://jump.mrso.jp/h3610920/>

不織布マスク着用をお願い



当院ご来院の際は、新型コロナウイルス感染症対策として、不織布マスクを各自でご用意いただき、必ず着用のうえご入館ください。

ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

上手にあらえるよ!

今回は、ひまわり保育所での新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを紹介します。



各部屋に、環境衛生のための空気除菌脱臭器を設置しています。日頃から、登所時の検温、うがいや手洗いをしっかりやっています。「てあらいのうた」にあわせて上手に洗うこともできますよ! マスクは、小さいお子さんが多く着用が難しいので、保育士が必ずマスクを着用し、常に消毒液を携帯して手指衛生にもつとめています。これからも子どもたちが安心して過ごせるよう対策して行きます。



編集後記



おひさまニュース
バックナンバー

先日、巻頭言を執筆された大塚看護部長とお会いした時に、毎号次は違う話題にしようと思っていても、やはり今号もコロナ感染から抜け出すことができなかつたと嘆き合いました。秋号の原稿は、8月下旬から9月初旬には編集局に届きます。そのころといえば、安房地域での感染

も深刻な状況で、当院も今までとは違った緊張が各現場で感じられるようになりました。安房圏外からの救急搬送など、過去にはない病院の姿を目にしています。

医療関係者だけでなく、すべての人が今頑張っています。マスク・手洗い・消毒などが協力の第一歩です。



じゅんべりい